

トランペット奏者 曾我部清典氏より：

ピッコロトランペット用ワウワウミュート開発に寄せて

ヤマハ時代から、大変親しくさせて頂いて、濱永さんの能力には、感嘆していました。その後、独立されて、ベストブラス社を起業された時に、まず一緒にやらせて頂いたのが、当時「曾我部さんのワウワウ」と名付けられたベストブラス社の最初の製品でした。ピッチの変わらないワウワウミュートはできないのか？という私の要望に応じて下さったものです。当時を思い起こすと、「ミュート（弱音器）という言い方は正しくない。サウンドトランスフォーマー（変音器）とすべきだ！」と、二人で主張したものでした。もちろん、それまでになかったような素晴らしい出来映えで、このミュートは、あのメーナード・ファーガソンも使ったと言われていています。その後、私のマウスピース哲学を理解して頂き、曾我部モデルのマウスピース（2種）も一緒に作りました。御蔭様で、今でも愛好者からの注文があります。

そして、今回のピッコロトランペット用ワウワウミュートですが、会社の経営を後進に譲られて、益々、金管楽器への愛情を感じさせる製品が出た！というのが、最初の印象です。ピッコロトランペット用ワウワウミュートは、実際に音楽現場で使われることを考えると、頻度はかなり限られると思うのですが、そういうところから攻めるというのも、濱永さんらしく、匠の拘りを感じます。

さて、実際の吹奏感ですが、他のベストブラス社の製品と同じく、ピッチの良さ・鳴りムラのなさはいうまでもありません。特筆すべきところは、しっかりと奏者の息／楽器の鳴りを受け止めて反応してくれるというところです。きちんと受け止めてくれるので、音の芯がはっきりして、鳴りの良さの割にはきつくないのです。これまであったピッコロトランペット用のワウワウミュートとは全く次元の違うミュートです。一度吹いてみれば、誰もがその違いに気づくことでしょう。

ただ、先ほども言ったように使用頻度が多くないミュートですから、使いたくても使えない状況があります。さらにクオリティを上げた「ピッコロトランペット用ストレートミュート」「ピッコロトランペット用カップミュート」の開発を切望します。

このピッコロトランペット用ワウワウミュートに触発された作曲家や編曲家がたくさん現れて、世界中でピッコロトランペットがワウワウ鳴る時代が来るのでしょうか？そうなったら、楽しいですね！

トランペット奏者 曾我部清典